事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37859
事業名	大規模盛土造成地変動予測調査費					
評価担当課	所属	都)市街地整備 開発指導課			電話番号	211-2512
施策名	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大など					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	兵庫南部地震や新潟中越地震など過去の大規模地震において、大規模な盛土造成地における活動崩落被害が顕著であったことから、国は平成18年の宅地造成等規制法改正により、宅地耐震化の基準を強化するとともに、宅地耐震化推進事業を創設し、各自治体に対し大規模地震時における盛土全体の安定性調査(大規模盛土造成地変動予測調査事業)の実施を促してきた。 札幌市の変動予測調査事業については、平成28～令和元年度に大規模盛土造成地を抽出する「第一次スクリーニング」及び大規模盛土造成地マップ(以下マップ)作成、令和2～4年度に以降の調査優先順位を設定する「第二次スクリーニング計画」策定、令和4年末にマップ更新を行い、令和5年度より対象35箇所について詳細調査である「第二次スクリーニング」を実施している。
	事業内容(何を実施し)	①変動予測調査 大規模盛土造成地の地下水位の継続観測及び水位上昇箇所の安定性確認 ②第二次スクリーニング 詳細な地盤調査や盛土形状・土質の精査、安定計算等 二次スクリーニング(詳細調査)1年目 5箇所 2年目 8箇所
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	国の滑動崩落対策推進ガイドラインに基づき地震時滑動崩落に対する安定性が確認されている状態
	他都市の状況	全国の自治体にて第二次スクリーニングを実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	125,841 千円	うち特定財源	127,700 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度予算額	89,000 千円	うち特定財源	26,300 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度決算額	75,565 千円	うち特定財源	13,600 千円	正規職員業務量	3 人工
令和6年度予算額	66,000 千円	うち特定財源	23,400 千円	正規職員業務量	3 人工

指標	アウトプット活動指標1	第二次スクリーニングによる安定性確認及び盛土耐震化				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1箇所	3箇所	9箇所	14箇所	19箇所	
	アウトカム成果指標1	滑動崩落に対する安定性が確認された大規模盛土造成地の				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		80%	81%	85%	86%	89%	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		調査全箇所の安定性が確認され、対策に進む盛土がなかったこと、業務効率化によって計画を超える箇所数の調査を行ったため、目標を超えて達成することができた。				
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	複数箇所の一体発注による業務効率化に取り組んだ。
来年度以降の方向性	業務発注の効率化等を継続し、後年度予定箇所の前倒し調査により大規模盛土造成地の地震時の安定性の早期確認・確保に努める。